

札幌社保協 FAXニュース

2013年 2月5日(火)
社保協事務局 発行
Tel 823-0867 Fax 821-3701
E-mail: s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
2/28(木)です

市へ緊急
要望書

障害者・母子・高齢者世帯などへ 灯油の支援対策を

札幌市の灯油代が100円/ℓを超えて、低所得者世帯の生活を圧迫しています。1/30に札幌社保協・道生活と健康を守る会・新婦人札幌協議会の3団体は連名で「福祉灯油・あったか応援資金等の実施に関する緊急要望書」を上田市長あてに提出。道生連・厚別の吉村さん、新婦人西支部の真鍋さん・札幌明るい老後をつくる会の岩本さんが市保健福祉局の渡辺総務部長へ要望書を渡しました。

出席者からは「一人暮らしの高齢者も増えており、食費を削る等どう生活を切り詰めるかを考えている。今すぐ支援をお願いしたい」「年金生活者は年金が下げられ、介護等保険料が上げられるなど手取り収入が大幅に下がっている。灯油高騰で十分な暖をとれない、冬を越せるようにしてほしい」と市の支援を要請しました。

渡辺総務部長は「灯油の値上がりは大変で要望は理解できる。何らかの対応が必要と判断したら対策を考えたい」と動向を見守ると回答。以前に市が実施した応援資金等の支援策には、消極的な市の姿勢を改めて示しました。道生連の三浦会長・札幌社保協斉藤事務局長は「現在の事態は高齢者等のくらしの限界を超えている。行政の緊急の支援をぜひお願いしたい」と強く要請しました。



年金、国保・介護・後期高齢者、原発など市と交渉

年金者組合札幌支部協

1/30年金者組合札幌支部協は、昨年札幌市へ提出していた各分野の要望に対する回答を基に、市の各部門と交渉を行いました。組合からは市内各支部から21人が参加、市からは各部署から17人が出席しました。

交渉では、主に最低保障年金制度・原発問題・国保・介護・後期高齢者・ゴミ問題の要望に基づいて話し合いました。



「社会保障制度改革推進法」のねらいを学習 勤医協在宅

2/1勤医協在宅グループケアマネ集会在り、斉藤札幌社保協事務局長を講師に「安倍政権と社会保障～社会保障制度改革推進法のねらい」を学習。ケアマネジャー80人余が参加しました。

グループワークの中では「お金のあるなしで介護サービスの利用が違って来る実態がある」などの事例が討議されました。

中央病院共闘委員会主催 社会保障改善!消費税増税中止!原発ゼロ!

雪まつり宣伝

2月10日(日)11時～12時 三越前交差点

みんなで
参加しよう

